

平成21年第1回稲城市教育委員会臨時会

1 平成21年2月6日午前9時00分から、稲城市役所4階全員協議会室において、平成21年第1回稲城市教育委員会臨時会を開催する。

1 出席委員は、次のとおりである。

小野 好江
稲垣 弘子
伊勢川 岩根
中田 中
松尾澤 幸恵

1 出席説明員は、次のとおりである。

教育部長	加藤和秀幸
指導室長	飯島 英世
学校給食 共同調理場所長	小沢 太平
生涯学習課長	西山 誠
体育課長	岡本 育大
文化センター課長	真藤 隆之

1 職務のため出席した職員は、次のとおりである。

学校教育課長	川崎 寿治
学校教育課庶務係長	小川 由紀夫
学校教育課庶務係	小沢 敏子
学校教育課庶務係	後藤 広美

1 会議に付された事項は、次のとおりである。

(1) 日程第1 「会議録署名委員の指名」

(2) 日程第2 「会期の決定」

(3) 日程第3 第2号議案

「平成21年度稲城市教育委員会の教育目標について」

(4) 日程第4 第3号議案

「平成21年度稲城市公立学校管理職（校長・副校長）の人事について」

委員長 　ただ今から、平成21年第1回稲城市教育委員会臨時会を開催いたします。

　それでは、日程第1.本日の「会議録署名委員」についてをお諮りいたします。

　前例に従いまして委員長指名といたしたいと思っております。

　御異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声あり）

委員長 　御異議なしと認めます。

　よって、本日の会議録署名委員は、伊勢川委員にお願いいたします。

　次に日程第2.「会期の決定」についてをお諮りいたします。

　本臨時会の会期は、本日1日とすることに御異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声あり）

委員長 　御異議なしと認めます。

　よって、会期は、本日1日と決しました。

　それでは、日程第3.第2号議案「平成21年度稲城市教育委員会の教育目標について」を議題といたします。

　教育長より、提案理由の説明をお願いいたします。

教育長 　本案につきましては、平成21年度稲城市教育委員会の教育目標を決定する必要があるため、本案を提出するものであります。

　詳細につきましては、指導室長より説明いたします。

指導室長 　平成21年度の教育目標について、提案理由説明をさせていただきます。教育目標につきましては、お手元の資料にもとづきまして、一枚目でございますが、こちらでは、本年度、「教育委員会では」としておりましたところを、21年度では「学校教育においては」としております。これは、基礎・基本の徹底、本物との出会い、連携という稲城エデュケーションプログラムを実際に具体化する学校教育に視点をあてたものでございます。また、これらの教育活動を通して育む、将来を生き抜く力を持った、地域、社会に貢献できる人間の育成が、生涯の基盤となる、という考えに立ち、その下でございますけれども、「このことは、生涯においても基盤となるものです」を加えました。

　次に、教育目標ですが、三つの教育目標の内容は本年度と同様でございます。文末を「の育成」とし、「の育成を図ります」から変更しております。

そして、矢印をつけて、この具現化のための基本方針を四つ、本年度同様あげさせていただいております。一つ一つの基本方針に変更はございませんが、基本方針の1では、本年度、生き抜く力を育てる社会体験や自然体験、というところを、「生き抜く力を育てる地域・社会体験や自然体験」と、地域での体験を重視する観点から文言を加えさせていただきました。

基本方針の3では、文末の部分でございますが、本年度は「学校経営を推進します。」とありますが、「学校経営の改革を推進します。」に、学校が常に学校改革に努めるとともに、市民の参画の場を拡大していくという内容とさせていただきます。

また、基本方針の4でございますが、下から2行目でございます。「伝統を尊び」という文言を加えさせていただいております。

次に、2枚目でございます。「平成21年度稲城市における子どもを育てる教育 教育は市民総がかりで」という文言を、本市の教育の中心的な考え方として大きく出しております。また、学校では、家庭では、地域では、という三つの関係の中心に、稲城市の教育活動における3つの柱を据え、学校、家庭、地域が一体となって進めていくことによって、教育は市民総がかりで、という考え方を強調させていただいております。学校、家庭、地域の考え方につきましては大きな変更はございませんが、教育活動における3つの柱につきましては、文末を全て「推進」に変更をいたしました。具体的には、「保幼小中を貫く教育を創造する」これは12年続いているものでございますが、「保幼小中を貫く教育・連携の推進」とし、「連携」という文言を加えました。これは、保幼と小との連携における小一プログラムの解消や、小中連携による義務教育期のプログラムの推進を意図するものでございます。

次に、「稲城の子どもたちに生き抜く力を育成する」これは、18年続いております。これを。「生き抜く力の育成の推進」に、三つ目の「特色ある学校づくりを推進する」これは14年目でございますけれども、これにつきましては、稲城では学校で学ぶ知力と、様々な人との出会いや、地域などでの伝統、自然体験などから学ぶ知力など総合的な知力を育むために、学校が持続可能な学びの場であり続けるということを、明確に位置づけるということで「持続可能な学びを育む学校づくりの推進」としております。

以上のような考えで、平成21年度の教育目標について提案をさせていただきます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

委員長 はい、ありがとうございました。

以上で提案理由の詳細説明が終わりましたので、これより質疑をお願いいたします。

前回の教育委員会でいろいろご意見等を出していただきました結果、以上のような報告が入っておりますが、いかがでしょうか。

特に初めの「稲城市教育委員会の教育」の教育目標につきましては、そのこのところですっきりと、全体論と教育目標、それから具体化ということで基本方針、ということで、非常にわかりやすく連携がとれていると思います。文言につきましては、みなさんのご意見が生かされていると思います。それから、図の方ですけれども、稲城市としてどういうように考えているか、柱を中心にしながら、学校では、家庭では、地域では、というようなまとめ方で今回、出来上がっております。

今、ご説明いただいた中で、なおご意見等ございましたら。いかがでしょうか。

はい、指導室長。

指導室長 家庭では、地域では、という部分でございしますが、「家庭では」につきましては、市P連の役員会でこの部分について再提案させていただきまして、この内容で来年度も協力をしていくということで一致したご意見をいただいております。

また、「地域では」につきましては、地域教育懇談会で投げかけ、提案をさせていただいております。これについてはこの方向で、ご協力をいただけるということでございます。以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

市P連、地域教育懇談会での経緯についてご報告をいただきました。

それでは、ご意見、ご感想などございましたら。

はい、稲垣委員お願いいたします。

稲垣委員 前回提案させていただきましたことを、非常に反映されたものを作ってくださいまして、どなたが読んでもわかりやすい言葉でまとめてくださったと思います。作業してくださった方は、大変だったかと思います。ありがとうございます。

委員長 ほかにいかがでしょうか。

中田委員。

中田委員 はい、非常によくまとまっていると思います。

委員長 伊勢川委員、いかがでしょうか。

伊勢川委員 比較的文章が多いと読みづらいのですが、図が非常に要領を得ていてわかりやすく、とても見やすいと思います。どうもご苦労さまでした。

委員長 本当にありがたいと思います。

教育長、いかがですか。

教育長

それでは、私から若干付け加えさせていただきますが、今回、様々なご意見を各委員さんからいただきました。指導室で文言の整理をしていく中で、学力の向上ということが一つの柱になっておりますが、学力の向上というのは、学校できちんと学ばせていく、学びから得ていく学力と、それから、稲城の場合は地域の教育力が他から比べるとはるかに高いと認識しておりますし、いろんな場面で地域の方もお力添えをくださっておりますので、それらを含めた場合には、総合的な学び、総合的な人間関係づくりと体験など、広い意味での学びのエリアがあるものですから、それらを学校教育と、地域から学ぶ学力とあわせたものから、最終的な生き抜く力として、まとめさせていただきます。

持続可能な学びを育む学校づくりの推進、とさせていただいたのも、それらを根拠とさせていただいております。新しく地域ができあがりつつあるところもあれば、旧の地域の中に新しい方を迎えている地域もあれば、様々に地域の状況も大きく変化しております。今後の稲城の10年、15年後を想定しますと、さらに新しいまちができていくということも視野に入れていきますと、学校が地域に対して、出向いて行って学ぶ姿勢を持たせるということが必要だと考えております。

また、地域のみなさんのお力もどこかで集約をしておかないと、そのままにしたら消えてしまうものも、中にはあるかもしれないのではないかとということも考えられます。稲城は伝統文化が色濃く一般の形でも残されていますから、それも含めて豊かな学びを子どもたちに対峙させていくことが稲城らしいと考えています。そういった意味で「教育は市民総がかりで」は、文言を含め、取り組んで生きたいと考えております。

それから、小一プロブレム、中一プロブレム等の課題については、教育だけを推進していくのではなくて、連携という形のとり方も基盤にないとやっていけませんので、その辺も連携を強調するなかで進めていきたいと考えております。

また、市P連の皆様からは、やはり基本的なことは、とにかく自覚して家庭のほうでもがんばっていきたいと、力強いご意見をいただいております。地域のほうでは、地域行事、塞の神も含めて大きく係わっているという情報も頂いておりますので、今後も、稲城らしい教育として、私たち教育委員会もバックアップしていくということが必要である、というように感じています。

また、「自助・共助・公助の実践」では、これは災害時によく使われる文言でもありますがけれども、日常生活でも同じように含めていこうということがありますし、特に21年度から小学校で、月1回土曜日授業を、また中学校においては年5回以上ということが行われますので、学校、家庭、地域の係わりをさらに土曜日を付加させる中で、深めていくことを考慮していきたいと考えております。

委員長

はい。それぞれの委員からのご感想、また教育長のほうからもごさい

ましたけれども、それでは質疑等、以上でよろしいでしょうか。
質疑がないようですので、以上で質疑を終結いたします。

これより、第2号議案「平成21年度稲城市教育委員会の教育目標について」を採決いたします。

本案を原案どおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙 手 全 員)

委員長 挙手全員であります。
よって、第2号議案は、原案のとおり可決いたしました。

日程第4. 第3号議案「平成21年度稲城市公立学校管理職（校長・副校長）の人事について」を議題といたします。

本会議につきましては、人事案件ですので、秘密会とすることに御異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長 異議なしと認めます。
よって第3号議案は秘密会といたします。
本秘密会におきましては、関係者以外の方の退席を求めます。
暫時休憩いたします。

(傍聴者と関係者以外の職員は退席をする)

(これより 第3号議案は秘密会)

秘密会議録は別紙

(これにて 第3号議案 秘密会は終了)

(職員が入室をする)

委員長 再開いたします。
これより、第3号議案「平成21年度稲城市公立学校管理職（校長・副校長）の人事について」を採決いたします。
本案を原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙 手 全 員)

委員長 挙手全員であります。

従いまして、第3号議案は、原案どおり可決いたしました。
以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。

本日の予定は終了いたしましたが、何か付け加えることがございましたら、挙手をお願いします。

教育長。

教育長 先ほど、説明の中で、言い忘れてしまったのですが、室長のほうから説明いただいております、「稲城市における子どもを育てる教育、教育は市民総がかりで」につきましては、市P連、また地教懇のほうからもご了解をいただき、納得していただいておりますので、5年間くらいはこのまま固定した形で、校長会ももちろん承認しておりますので、しっかりと学校、家庭、地域と力を合わせてがんばっていきたいと考えております。また、5年くらい経ったところで、見直すべきところを検証し、進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員長 教育長より付け加えがございました。
他にはよろしいでしょうか。

では、これにて閉会といたします。ありがとうございました。

(午前9時48分閉会)